

北アルプス：鹿島槍～唐松縦走

- ◆日程 2018年9月15日(土)～9月17日(月)
- ◆メンバー L：須田(健)、前田、大山

金曜日の23時都庁出発の毎日アルペン号という夜行バスで扇沢に向かう。扇沢に4時過ぎに到着したが夜行バスなのでしっかりと寝た気がしない。扇沢は雨でまだ真っ暗だったので明るくなるまで扇沢駅の中で時間をつぶした。

9月15日(土) 天候：雨

明るくなり小雨の中出発。10分程で柏原新道に入り急登を登っていく。稜線の分岐まで上がると種池山荘があり、中で休憩する。腹も空いていて寒かったのでカップラーメンを注文して食べた。こういう場所でのラーメンは最高に美味しい。

休憩後、爺ヶ岳に登頂、中峰は2669mなので60周年の対象になる。写真を撮ってすぐに出発。冷乗越を過ぎてすぐに冷池(つめたいけ)山荘に到着した。Oさんからの情報では冷池山荘の女性スタッフは可愛い人が揃っているという話だったがガセネタだった。テン場は10分程離れたところがあり、テントを設営して中に入るとやっと落ち着くことができた。雨の中行動していたので、テントの中は温かく安心感がありホッとすする。しばらく何もせずにボーっとしてから乾杯をした。夕飯は大山さん作のクリームシチューのマカロニパスタでとても美味しかった。



CT：扇沢 6:00-休 7:00-休 8:00 - 石ベンチ 9:10 - 種池山荘 10:00～10:45
-冷池山荘 13:00

9月16日(日) 天候：小雨、ガス

3:30起床。昨晚から未明にかけて雨風ともに強かったが朝になり雨が止み風も弱くなった。そのため今日は予定通り八峰キレットを越えて五竜まで行くことにする。

鹿島槍ヶ岳頂上には冷池山荘からピストンで来ていた人が多くいた。天候が悪いのもありキレット越えの人はほとんどいなかった。ここから先が本番なので気を引き締めて歩き出す。時々小雨が降る中、急な登下降を



繰り返し鎖場や梯子が連続する。大山さんと前田さんは岩稜帯での技術がしっかりしているので全く不安なく危険箇所を通過できた。

ここがキレット！バランス取って慎重に。と書いてある切り立った岩場を慎重に通過するとキレット小屋が見えてきた。ガスってはいはつきりとは分からないが、まさに崖に挟まれたスゴイ場所に小屋が建っている。ガスが晴れたときの景色を見てみたいものだ。

その後も口の沢のコル、北尾根ノ頭を過ぎガレ場を登ると五竜岳に着いた。今日はガスっているからか雷鳥が5～6回出没して緊張感を和らげてく



れる。白い冬毛に生え変わる途中で美しい姿だ。五竜岳から40分で五竜山荘に到着し素早くテントを設営する。テント内はかなり濡れていて、シュラフやマットもすべて湿っていて気持ちが悪い。でも無事に八峰キレットを越えることが出来たことで今回の山行は無事に終われそうだなあ、などと独り言をしていた。夕飯は前田さんが永井食堂のもつ煮込みを持ってきてくれたので美味しく頂いた。

CT：冷池山荘 5:30-鹿島槍 7:00-休 8:30-キレット小屋 9:10-休 10:30
-赤抜け 12:00-休 13:00-五竜岳 13:30-五竜山荘 14:30

9月17日(月) 天候：曇りのち 晴れ間

4:00 起床。昨晚は雨風ともに強く、テントがかなり煽られた。シュラフカバーをしていたにも関わらず雨が浸みできて靴下が濡れていた。朝食を食べ、テントを撤収する頃には風も弱まっていたが、ガスは濃く展望は全くない。

今日は唐松岳を登って後は八方尾根を下るだけだから楽勝だろうなどと思っていたが、行けども行けども唐松岳に辿り着かない。偽ピークが続き辛くなってきた頃、やっと唐松岳頂上山荘に到着した。私の勘違いで唐松岳の先に小屋があると思い込んでいたのだ。道理で唐松岳が見えてこない訳だ。

山荘にザックを置いて空身で唐松岳に向かう。最後まで展望はなかったが標高に6が付いていたのでこれまた60周年の対象になる山だ。とっとと戻って八方尾根を下り始める。1時間程下りると天候が回復してきて晴れ間が見えてきた。下の街並みも見える。山あるあるだが、下り始めると天気が良くなる。八方池辺りは観光客が一杯で賑わっていた。リフトとゴンドラを乗り継いで八方に到着。日帰り温泉を探しながら歩いて行くとひなびた温泉旅館があり、そこで温泉に入って汗を流した。電車まで時間があつたので白馬駅近くの蕎麦屋で昼食をとり、1日に1本しかないという南小谷から来る特急あずさにも乗り帰途についた。運良く自由席に座れてゆっくり眠って帰れた。今回天候には恵まれなかったが予定通り行動できたし、念願の八峰キレットも登れたので充実感にあふれた山行だった。



CT：五竜山荘 5:40-休 6:40-唐松岳頂上山荘 8:00-唐松岳 8:30-唐松頂上山荘
8:50-八方池山荘 11:20 (記：須田)